

こまどりケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします



里山の春

五條市西吉野町 春の花を訪ねて



西吉野町 鹿場

南朝ゆかりの場所
賀名生皇居跡門前に
見事なしだれ桜が

皇居跡は現在
レストランとしても
開放されています！

早春の春麗らかなお花の風景が、カメラマンに人気の五條市西吉野町。地元の人たちから大切に守られてきた里山の景色です。桜の名所とはまた違った風情を探しに、春のお出かけをしてみませんか？



賀名生の里

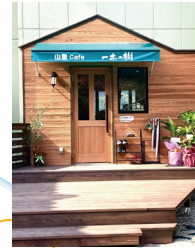
- ・ 歴史民俗資料館
- ・ 賀名生皇居跡

至五條 IC
至国道24号線

フルーツロード



山里 cafe 一本の樹



至下市町

鹿場

桃源郷

川岸

桃源郷 と呼ばれている西吉野町川岸。この辺りは、特産品である花生用の枝物の花木の栽培地。収穫されなかった枝や、後継者がいない木など、里山に残された花木が一斉にほころび、早春を告げる。

咲いている花は…
ケイオウザクラ ヒガンザクラ カンザクラ
サンシュユ レンギョウ 桃 紅梅 など

みずみ広場

津越

車一台がやっとの
細い道を登る

福寿草の群落は
私有地です。
マナーを守って
鑑賞ください。



津越の 福寿草自生地

開花時期は2月上旬～3月中旬
集落の山の上にある「稱名寺
(しょうみょうじ)」周辺の土手の
斜面に晴れた日に顔を出す。

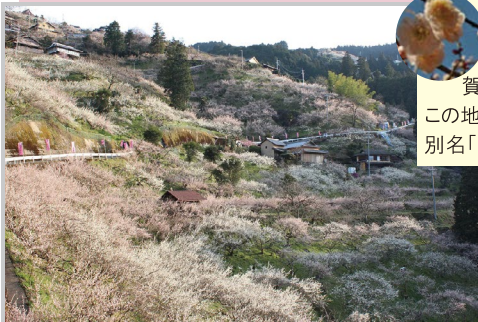
至十津川村

■お問い合わせ
五條市産業環境部
企業観光戦略課
TEL 0747-22-4001

賀名生梅林



賀名生梅林



賀名生梅林 梅の品種のひとつ

林州(りんしゅう)

淡紅色の八重咲き
賀名生梅林を象徴する
この地方独特の在来品種。
別名「北曾木梅(ほくそぎうめ)」

奈良県三大梅林のひとつで、約30ha
に2万本もの梅花が咲き、雲海のような幻想的な
風景が広がる。甘い香りに包まれながら山を散策
できる。梅の見ごろは2月下旬～3月中旬頃。



山里 cafe 一本の樹

奈良県五條市西吉野町屋那瀬311

TEL 0747-32-0481

facebook 山里cafe一本の樹

cafe / 月・金・土・日 11~16時 OPEN

1・2月冬季休業 3月再開予定

★営業についてはご確認ください
★混雑を避けるため予約がベターです



▲店のメインメニューは、オーナーが魅了されている薬草「大和当帰」の葉を使った「大和当帰の鶏にゆうめん」。単品のほか季節のご飯や小鉢などが付く定食は、ドリンクやデザートとのセットも選べます。

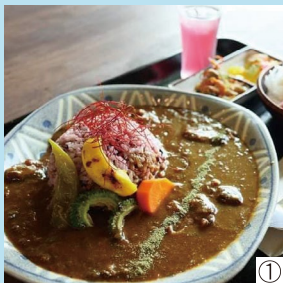
奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学(NAFIC)で学んだオーナーが、地元食材の薬草やジビエを使っておもてなししているカフェです。賀名生の里を見下ろす山の上にある店で、春の桜や梅、秋の紅葉を楽しみながら、ぜひ心地いい時間をお過ごしください。

ジビエ

自家製野菜の新鮮サラダ

大和当帰

旬のフルーツのデザート



①安心安全な五條ジビエの鹿肉を、赤ワイン・オニオンスライス・大和当帰葉にひと晩漬け込み、手間暇かけて作る「大和当帰の鹿カレー」 ②手作りケーキで絶景を見ながらティータイム ③季節毎に仕込む酵素ジュースもこの店の名物。常時数種類の中から選ぶことができる ④山の上のお店からの眺めは最高！



或る日の酵素ジュースメニュー

- ★フラム ★ザクロ ★キウイ
- ★みかん ★柿 ★ブルーベリー
- ★びわ ★ゆず ★パイン
- ★うめ

カフェのオーナー岡本則子さんはFMGOJOの番組「五條健康教室」で大好きな大和当帰の魅力を発信中！



6月頃 白い花を味わす



セロリに似た爽やかな香りと独特の風味です！

とうき 当帰

セリ科の植物。根が生薬となり、古くから奈良県内各地で栽培されていた「大和当帰」は、冷えや貧血、血の道症などに効果がある漢方薬として、当帰芍薬散などの処方がある。かつて大和当帰の栽培が盛んだった五條市も復活を目指し、栽培に取り組んでいる。近年では根だけでなく葉も和ハーブとして料理に利用され、さまざまな加工品も開発されている。

雛人形 男女の位置

桃の節句に雛人形を飾るようになったのは江戸時代頃だと言われていますが、その飾り方が、関東と関西(主に京都周辺の地域)では違うのをご存知でしょうか?男女一对の内裏雛は一般的に、向かって左側に男雛、右側に女雛を並べる関東雛(江戸雛)が主流。結婚式の男女の並び位置と同じです。これに対して、逆の並べ方をするのが関西で見かける京雛です。日本では古くから左方上位という、左側に立つ人ほど位が高いという考え方やしきたりがあり、御所における玉座の位置に基づいて飾るのが京雛の習わしです。では何故、逆になっていったのでしょうか。これには諸説ありますが、明治時代、西洋の流れを受けて国際儀礼である右方上位の考え方が取り入れられたことからだと言われています。宮中でも欧米式が取り入れられ、大正天皇が即位の礼で、洋装の天皇陛下が西洋のスタイルで皇后陛下の右に立たれた事からこの風習が国民にも広まり、その影響を徐々に雛人形も受け全国に広がったようです。ところが京都は古式を大切にしているのか、昔ながらの並べ方を守り続けています。関西(京都)は昔のルール、関東は今のルールに従っているのですね。μ



京都の料理店に飾られていた雛人形のルーツ「立ち雛」

「立ち雛」

